

12～18歳の方と
保護者のみなさま

新型コロナウイルスワクチンを 接種するときの注意点

1. ワクチン接種をする前の確認

- ①37.5℃以上の熱がある時、体調が悪い時は接種できません。
- ②ワクチン接種について不明な点は、接種前に医師に相談しましょう。
- ③インフルエンザや日本脳炎・2種混合・子宮頸がん等、他のワクチンを2週間以内に接種している場合は接種できません。また、**ワクチン接種後2週間は他のワクチンを接種できません。**
- ④ワクチンは肩の近くに注射します。**肩の出しやすい服装**で受けましょう。
- ⑤これまでに、**採血や予防接種で気分が悪くなったこと（めまいや失神等）がある人は**、医師に伝えましょう。また、保護者の方は接種への同伴をお願いいたします。
- ⑥ワクチン接種後、15分以上は座って様子を見ましょう。（30分様子を見る場合もあります）

2. 接種した後にこんな症状が出るかもしれません

他のワクチンに比べて、発熱や痛み等が出やすいですが、2～3日で自然によくなります。症状が出たらあわてずに、きちんと周りの大人に知らせましょう。

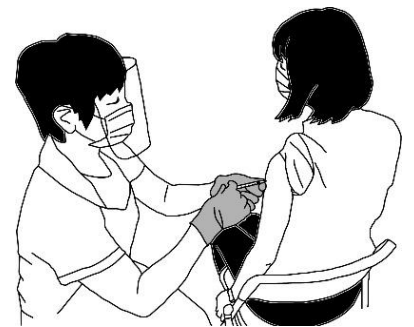
《接種後すぐに起こることがある症状》

● アナフィラキシー

重いアレルギー反応で、じんましんや息苦しさなどの症状がでます。体がかゆくなったり、咳が出たりするときはすぐ伝えましょう。

● 血管迷走神経反射

ワクチン接種に対する緊張や痛みをきっかけに、血の気が引いて立ちくらみがしたり、気を失ったりすることがあります。横になって休めば自然によくなります。



《数日以内に起こることがある症状》

症状	症状が出た人の割合
注射した部分の痛み、疲れた感じ、頭痛	50%以上
筋肉痛、悪寒、関節痛、発熱	10～50%
注射した部分の腫れ・赤み、げり、嘔吐	1～10%

《数日以内に起こることがある症状（つづき）》

- * 接種後すぐよりも、受けた日の夜や翌日に、注射した部位の痛みを感じる人が多いです。
- * 発熱、頭痛、倦怠感の症状は、**1回目より2回目の接種後の方が多くみられます。**
- * **発熱は、若い人のほうが多くみられます。**20歳代では2回目接種後に発熱する人が約半数みられました。発熱は接種の翌日までに起こることが多く、その多くは2日間以内に解熱しました。いずれの症状も**2～3日でよくなります。**
- * 発熱やつらい頭痛には、アセトアミノフェン（カロナール）もしくはイブプロフェン（ブルフェン）の服用が効果的です。医療機関の処方または市販品の用法・用量を守ってお使いください。
- * 主に若い男性にまれにみられる副反応で、心筋炎と心膜炎が報告されています。接種後数日以内に、胸の痛み・動悸・息切れ等が出た時は受診しましょう。

3.接種した当日に注意すること

- * 激しい運動は控えてください。
- * 接種当日に入浴しても問題ありません。
- * 注射した部分は清潔に保ち、強くこすらないようにしましょう。

4.こんな時は相談・受診を！

- 日常生活に支障をきたすほどの発熱・疼痛・倦怠感
- 接種後1週間以内に胸の痛み・息切れ・動悸があった時
- 2～3日を超えて発熱・だるさ等が続き、鼻水・味覚や嗅覚障害・息切れ等の症状があった場合

上記のような症状がある場合は
接種した医療機関またはかかりつけ医に
相談し、受診してください

相談窓口

山形県ワクチンコールセンター

☎0120-567-690

(AM8:30～PM18:00)

**ワクチン接種後に発熱や体調不良があった場合は
学校に連絡し、登校をさけるようにしてください**

参考元資料

- 厚生労働省「12歳以上のお子様と保護者の方へ～新型コロナワクチン接種についてのお知らせ」
- ファイザー社ワクチン用〈12～15歳のお子様の保護者の方へ〉新型コロナワクチン予防接種についての説明書
- 公益社団法人日本小児科学会予防接種・感染症対策委員会
「新型コロナワクチン～子どもならび子どもに接する成人への接種に対する考え方～」に関する Q&A